

看護部トピックス

Vol. 9



いつも元気なナースちゃんです！今回はフライトナースとして活躍している看護師を紹介します。



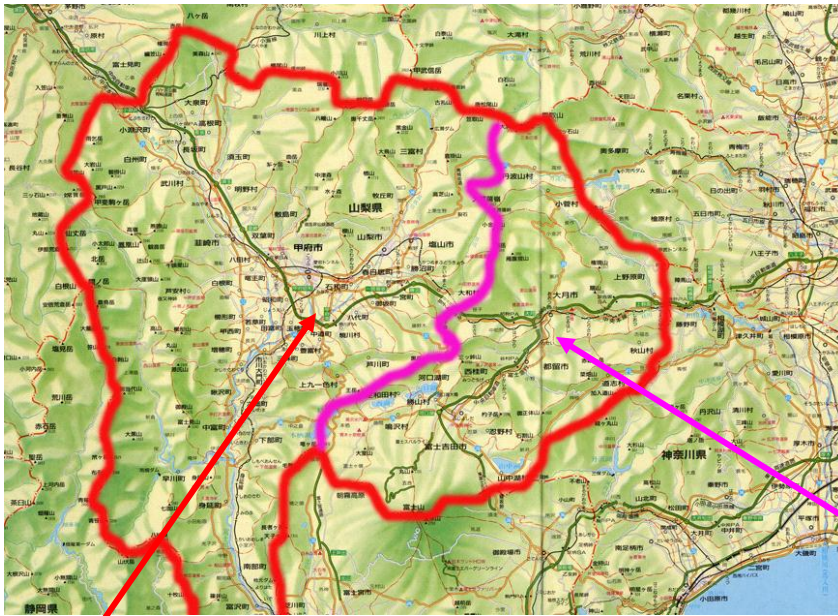
フライトナースとして働き始めて

横内 まゆみ

当院でも、H24年4月よりドクターヘリの運行が開始されました。フライトドクター6名、フライトナース5名で救える命を一人でも多く救ってほしいと、日々奮闘しています。救命センター内にヘリホットが鳴り響き、「ドクターヘリエンジンスタート！」という無線機から流れる声を聞くと、ドクターとともにヘリポートに向かいます。そして、すでにエンジンをスタートさせ離陸準備が整っているヘリコプターに乗り込みます。乗り込んだらいざ離陸！この時点では、私たちを待っている患者の情報はほとんどなくヘリコプター内で医師が行う現場との無線のやりとりの中から患者の状態について情報を得ていきます。そして情報を得た瞬間から、自分の持っている知識を活用し頭の中をフル回転させ患者に起きている様々な状況を考え、それに備えて準備を行います。現場に到着し患者と接触、医師とともに必要な処置を行っていきます。さらに、私たちにはもう一つ大きな役割があります。患者のそばで動揺し、不安を強く抱いている家族への対応です。患者の状態を伝え、私たちが責任を持って安全に病院まで搬送していくことを説明し、家族の状況も把握しておく必要があります。以前、私がフライトナースとしてヘリ搬送した患者の家族ですが、現場では動揺が強く涙を流しながら呆然と立ちつくしている家族に対し短時間ではありましたが関わることができました。そして、その後病院で家族と再会したとき、泣きながら私のそばまで走ってくると、「あの時はありがとうございました。」と声をかけて頂きました。現場での滞在時間は短く、限られた時間ではありますがフライトナースとして果たすべき役割は大きいと思います。私自身、知識・技術においてまだまだ課題は多くありますが、フライトを終えた後の達成感とやりがい感は大きい仕事だなと実感しています。



山梨県の第3次救急医療ヘリコプター搬送



東海大学ドクターヘリ

山梨県消防防災ヘリ

みんなも一緒に中央病院で働いて
みませんか！お待ちしております！

